

県連ニュース

2010年12月1日発行

栃木県勤労者山岳連盟

県連交流ハイキング報告・・・1

三県初詣交流ハイキング2011「ぐんま」のご案内・・・5

2011年 関東ブロック救助隊深雪搬出訓練/交流集会 開催のお知らせ・・・6

県連交流ハイキング“横根山”に参加して

宇都宮ハイキングクラブ 橋本 文江

11月14日早朝、目的地古峰ヶ原神社にバス移動中、木々の紅葉、大芦川のせせらぎの音など懐かしさを感じました。それは、母の在郷が草久というところで、夏休みによく遊びに来たところでした。神社には何回もお参りに来ていたので、今回県連交流ハイキングが横根山というので、是非行って見たいと思いAコースに申し込みました。宇都宮ハイキングクラブに入会して1年過ぎました。県連交流ハイキングは初めてなのでどんなものか興味がありました。



古峰ヶ原駐車場に着いてからは各班に整列し、開会式ではリーダー紹介、各代表の方の挨拶の後、準備体操を行いました。各コース毎にバス移動し、古峰ヶ原高原、方塞山登り口、ロッジでそれぞれ下車し、目的地に向かって歩きだしました。私の班はA-2でリーダー勝又さん先頭に先ず像の鼻へ。ここからの展望は男体山がすぐそこにせまっているようだった。井戸湿原、五段の滝ともう紅葉は終わりだったがとても歩きやすかった。野木、上三川、悠々、宇都宮の各クラブ12名で途中和気

あいあいと話をしたり、良い声の歌が聞こえてくれば口ずさみ他のクラブの人達と共に行動できて交流の良さがわかりました。「これで紅葉が見られたらね」と言うと、どなたか「イメージすると良いよ」と言っていたので想像してみたり楽しい気分でした。3時間位の歩行だったのでとても楽でした。ロッジでは昼食にきのこ汁が振舞われとてもおいしかった。準備した方々は大変だったろうと本当に有難いと思いました。食事の後はお楽しみコーナーでゲームと歌が待っていました。伝言ゲームで「……は県連行事」最後の人には「……は電電公社」で伝わったと皆で大笑いしてしまいました。伝えることがいかに難しいか実感しました。背中に字を書いて山の名前をあてたり、首、手首に手ぬぐいを巻いてポンして回すので挽回し3位になり景品を頂き大喜びをしたり、月光仮面、ハリマオ等扮装して皆大喜びで笑ったり歌ったり大変でした。「山男の歌」「雪山賛歌」「山小屋の灯火」等々の歌を合唱し若かりし頃にタイムスリップしたようで、今まさに青春です。本当に楽しい時間を過ごさせて頂き県連会の方々にお骨折りのお陰で至福の時間を持てて感謝でいっぱいです。

栃木県勤労者山岳連盟 発行責任者：増田俊雄 編集責任者：橋田弘一

321-0345 宇都宮市大谷町1109

<http://www.geocities.jp/tochigirosan/>

栃木県連交流ハイキング

上三川ハイキングクラブ 築瀬加代子

まず最初に春から半年以上もかけて各種調整や準備をして下さった役員の皆様に深く感謝したいと 思います。コースの下見から各方面関係者との打合せそしてレクリエーションの計画から実行まで、本当にお疲れ様でした。とても意義のある楽しい交流ハイクだったと思います。

11月14日06時30分、私たち12名は役場駐車場を出発07時45分古峰ヶ原神社の駐車場に到着しました。{マロニエ} {野木} {宇都宮} {悠遊} {上三川} と各クラブの方達、総員80名が合流され朝からとても活気に満ちて居ました。古峰ヶ原神社で08時~から開会式が実施されその後入念な準備体操そしてABCの3コース、グループ分け(各コース2グループで6チーム)等が有り私はBコースの第2グループでした。再びバス3台と数台の乗用車に乗り、各コース出発点に向いました。

*Am8時00分 開会式開始及び準備体操等。

*Am8時45分 前日光入口ゲートで方塞山方面コースへ向うグループは下車、
ウォーキング開始

*Am9時05分 方塞山頂着。ここで小休止して横根山へと向う。途中、日光男体山、女峰山、大真名子山、子真名子山、雪をかぶった白根山の山々の連なりを見ながらとても気持ちよい山歩きだった。

*Am10時15分 横根山着。休憩後、井戸湿原を通り象の鼻へ向う。多くのツツジ林やズミの赤い実を眺め、花の季節を想像しながら歩く。

*Am10時15分 象の鼻に到着して休憩。秋の青空と言うほど天気ではなかったが、良く眺められ素晴らしかった。ただ風があり肌寒く、服装の準備の難しさと大切さを思った。

*Am10時15分 ロッジに全員無事到着。ウォーキングコースの紅葉はすでに終わっていたが、カサカサと落ち葉の音を聞きながら歩くのは心地よいものでした。リーダーの阿久津さんが物知りの方で、ズミの木皮は染料になるとか、ハナズミは何処から来たとか、デジタル時計見る南北の見方とか色々教わりました。昼食のきのこ汁は少し濃い味でしたが疲れた体にはやさしく、おいしく頂きました。

*Am10時15分 レクリエーション開始。オリエンテーションの時から各チームの力が入り、いつもは見られない勝負師の顔がのぞいたり、皆やる気十分の炎が燃えているようでした。



(伝言ゲーム) 背中に文字を書き分かって貰うことは至難の業でした。

(タオル、ゲーム) 首に巻いたり、手首に巻いたり、いやー器用、不器用の差が出ました？少し練習時間が有ったお陰でB2チームは好成績を収める事が出来ました

(ジャンケン勝ち抜きゲーム) 皆力が入り顔はまるで子供に帰った様でした。かなりムキになった人もいて楽しい顔を見せて

貰いました。

どのゲームも力が入り久し振りに体中が熱くなりました。

そして歌の部での野木山想会、河島さんの演出は最高、大爆笑でした。月光仮面はとても楽しく皆を喜ばしてくれました。そして皆で歌った久し振りの歌の数々、山男の歌、雪山賛歌、とても懐かしく色々思い出しながら歌いました。

*Pm14時30分 約2時間のレクリエーション、最高に楽しく瞬く間に過ぎ去ったが時間でした。

交流ハイクの良さや楽しさも十分味わう事が出来、今回の目的は確実に達成されたのではないかと思います。

*Pm16時30分 役場駐車場に帰着、交流活動の楽しさを暖めながら全員無事戻ってきました。

役員及び会員の皆様楽しい一日を本当に有難う御座いました。

2010年度 県連交流ハイキング実施報告

野木山想会 A・Y

Aコース ロッジ…象の鼻…井戸湿原…五段の滝…あずま屋…横根山…ロッジ

Bコース ゲート…方塞山…牧場分岐…横根山…井戸湿原…象の鼻…ロッジ

Cコース 古峰ヶ原高原…三枚石…方塞山…牧場分岐…横根山…ロッジ

平成22年11月14日(日) 古峰ヶ原神社大駐車場8:00に80名が集まった。

開会式の後、準備体操、諸注意があり、車に乗り込んだ。Cコースは古峰ヶ原高原入り口8:30、Bコースは入り口ゲート8:40、Aコースはハイランドロッジ8:50に下車し、それぞれ横根山に向かって出発した。

鮮やかな紅葉は終わったが、横根山や方塞山はまだまだ美しかった。晩秋の牧場には一頭の牛もいないが、黄色みを帯びた丘のうねりは美しかった。展望台のある象の鼻からは男体山と皇海山との間に雪の白根山がくっきりと見えた。井戸湿原、五段の滝を巡り、山荘跡への途中で賑やかな声が聞こえて来た。Bコースの人たちと挨拶を交わし、横根山山頂ではCコースの人たちと出会った。山の空気をいっぱい吸って、ハイランドロッジへと下った。

ハイランドロッジに11:40Bコース、11:45にAコース、少し遅れて12:10にCコースが到着した。3つの和室を借り切って、持参したおにぎりと熱々のきのこ汁で昼食をとった。時間を早めて、全体会議を12:40から始めた。

県連会長の増田さん、理事長の八木沢さんからのご挨拶をいただいた後、上三川H.Cの田口さん、笠倉さんが準備して下さった伝言ゲームと手ぬぐいを使ったりレー・ゲームを楽しんだ。皆さん真剣なまなざしで、子供に帰ったようなはしゃぎようだった。その結果、優勝はBの1コース、準優勝はBの2コース、3位はAの2コースとなった。

その後、野木山想会の河島さんが月光仮面・ゲゲゲの鬼太郎・ガッチャマンなど仮装よろしく楽しませてくれた。そして最後に、山男の歌や雪山賛歌などを皆で歌って、14:30に散会した。

県交流ハイキング 横根山

悠遊ハイキングクラブ 伊藤和子

11月14日、鹿沼の横根山のハイキングです。

ABC3コースの中で私はBコースで出発し、晩秋の落ち着いた雑木林の中、ズミの赤い実、唐松の茶、落葉を踏みしめて方塞山、横根山、井戸湿原、象の鼻と歩きました。

悠遊、野木、マロニエ、宇都宮の各ハイキングクラブの人達と一緒に班を組みました、途中でリーダーによる実技教育のあり、アナログ時計での東西南北の方向を教えてもらったりとても楽しく歩きました。

目的地のロッジに着き、おいしいけどちょっぴり塩が利いたキノコ汁をいただいた後レクリエーションが始まりました。伝言ゲーム、タオル縛り、じゃんけんと真剣になり熱が入りました、また合唱リーダーの巧みな演劇でみなが盛り上がり全員が一丸となって歌いとても楽しく良い気持ちになりました。

古峰ヶ原の紅葉を後にして、とても楽しい1日を過ごせました。

準備をしていただいた役員の方々のご苦労に感謝します。



県連交流ハイキング報告

(横根山・井戸湿原)

実施日 平成 22 年 11 月 14 日

A コース 富屋 6:30—古峰原神社駐車場 8:00—出発 8:10—ロッジ 8:50—
タイム ぞうの鼻 9:15—湿原 9:45—五段の滝 10:00—小屋跡 10:20—
横根山山頂 10:45—ロッジ到着 11:40～12:40 食事—ゲーム 12:45
閉会 2:30

6:30 分定刻に悠遊さんと一緒のバスで富屋を出発しました。役員さんの挨拶のあと参加者全員での体操を終えて、各班ごと、各コースごとに分かれて出発です。

曇り空ですが、風もなく、暖かく、晩秋の山歩きにはとても良い日です。

途中 A コース・B コース・C コース・が、スレ違ったり、一緒になったりしながら 12:00 前には全員がロッジに到着しました。

各班ごとに暖かいキノコ汁と、持ち寄った漬物・果物などをいただき、お腹が一杯になった頃ゲームが始まりました。

伝言ゲーム・背中文字ゲーム・では・・・何を言っているのか解らない・・・年のせいで耳が遠くなったのか？背中の文字が解らない・・・もっとちゃんと書いてよ。背中の肉が厚くて文字が解らない？・・・気が付くと必死の自分がいました。

勝ち上がってきたグループ同士のジャンケンでは、笑いど、拍手ど、熱気が感じられ全員がどのグループが勝つか固唾を飲んで、見守っています。

金原会長がリーダーの B-1 班が優勝し、1 位から 3 位までのグループには賞品が手渡されました。

ゲームの後は、山の唄・若者たち・などを合唱して全体会は終わりました。

企画・実行された委員の方々、大変だった事と思います。終わりにしたい。そんな つぶやき も聞こえますが、とても楽しかったです。来年も企画して下さい。楽しみにしています。

マロニエ HC 郷間 記

県初詣交流ハイキング 2011 ぐんま」のご案内

群馬県勤労者山岳連盟

表記交流ハイキングの案内を行ないますので、宜しくお願いします。

1. 開催期日 2011 年 1 月 23 日(日曜日)
2. 集合場所（駐車場） 群馬県高崎市寺尾町 1064-30
 観音山ファミリーパーク駐車場(無料)
 駐車場入口手前の橋上の路面が凍結している可能性があります。
 充分注意をお願いします。
3. 集合時刻 上記駐車場に 9 : 0 0
 出発時刻と場所 9 : 3 0、上記駐車場を予定しています。
4. 歩行時間 約 3 時間、下記 2 コース(別紙地図を参照下さい)
 A コース(時計回り)
 出発地⇒小塚⇒染料植物園入口⇒白衣観音⇒錦山荘方面⇒館西⇒出発地
 B コース(反時計回り)
 出発地 ⇒館西⇒錦山荘方面⇒白衣観音⇒染料植物園入口⇒出発地
5. 集合地までの道順 (北関東道⇒関越道⇒上信越道)
 ・上信越自動車道・吉井 IC で降りるのが一番分かり易いです。
 IC を降りたら国道 254(北)に向い、国道 254 信号を左折する。(西に行く)
 国道 254 に入ったら、最初の信号(川内)を高崎方面へ右折する。(北に行く)
 神流川の橋を渡り、坂道を登り、「城山団地入口」交差点を左折する。
 そこから約 2km で駐車場に着きます。
6. 問合せ、その他
 - 1) 昼食は出発地点を予定しています。(トン汁のサービスを予定しています。)
 - 2) コース途中に高崎白衣観音や染料植物園(いずれも有料)があります。
 終了後の見学をお勧めします。
 また、近くに「錦山荘」という温泉もあり、展望もすばらしいところです。
 - 3) 問合せ先
 群馬県勤労者山岳連盟、事務局 島田までお願いします。

2011 年 関東ブロック救助隊深雪搬出訓練/交流集会 開催のお知らせ

主催 関東ブロック協議会

主管 群馬県勤労者山岳連盟 救助隊

【開催日】：2011 年 2 月 26 日(土)・27 日(日)

【開催場所】：群馬県 谷川岳 土合周辺

【集合場所】：土合山の家 26 日(土)午前 9:30 (27 日のみの参加の場合は同日午前 7:30)

【宿泊】：土合山の家

【参加費】：7,500 円(土合山の家・一泊二食付, 交流会費を含む) 27 日のみの参加は 500 円.

【参加対象】：関東ブロック協議会所属の各都県連盟救助隊々員・並びに救助隊活動に携わる方
[東京・神奈川・千葉・埼玉・群馬・茨城・栃木・山梨]

【申込締切日】：2010 年 1 月 31 日(月)

申込みは各県連盟救助隊事務局でとりまとめのうえ、別紙の参加申込書に記入し、
群馬県連盟救助隊・長谷川までお送り下さい。送付先は下記をご参照下さい。

参加者数により要員の要請手配がありますので、申込期日は厳守をお願いします。

【装 備】：冬山装備一式 登攀具一式 (ビーコン, プローブ, スコップはできるだけ持参下さい)

共同装備は各都県連盟救助隊装備をご用意下さい。

(主管事務局から要請するものもありますのでご協力下さい)

【訓練内容】：深雪におけるの搜索・救助搬出技術訓練

26 日(土)

全体講習 低体温症に関する机上講習(講師全国連盟藤柊様)

臨床実験 群馬県連による動物を使った低体温症臨床実験

搬出訓練 (時間の都合により翌日の準備として行います)

※搬出訓練については、参加者のレベルによってグループ分け・班分けを行います。

1. **講習グループ** 初級コースとして、ビーコン・梱包技術の講習会

2. **訓練グループ** 翌日の救助活動に向けた準備作業および基本技術確認

27 日(日)

(搬出訓練)

1. **講習グループ**

シート梱包、引上げ工作などの技術講習を中心におこない、安全地域にて搬出のシステムを学びます。深雪搬出訓練初参加者等を対象とします。

2. **訓練グループ**

実際の遭難事故を想定し、搜索、梱包、搬出の一連を実践的な場所で訓練します。

※ 訓練グループについてはあくまでも訓練ですから、あらかじめ各連盟で技術習熟度をよく確認し、参加グループの選択・割当てをしていただくようお願い致します。

【交 流 会】26 日(土)宿舎にて

- 各県連の活動報告
- 技術交流
- 懇親会

主管連絡先：群馬県勤労者山岳連盟 救助隊

長谷川浩 〒370 - 0128 TEL0270 - 70 - 1128

群馬県伊勢崎市境保泉 1 - 44 - 4

※宿泊予約取り消しについて：宿泊 3 日前以降については、原則として取消料を負担いただく場合がありますのでご了解くださるようお願いいたします。